

加賀市は、東京大学、および民間企業との共創で『カカオの森づくり』の研究を行います。

加賀市は、株式会社DK-Powerが加賀市で進めることになった小水力発電事業の収益の一部を加賀市の地方創生に活かす取り組みの一環として、国内初の「カカオの森づくり」の実現を目指し、東京大学、株式会社DK-Powerおよび株式会社フェリシモと産学官にて共同研究を行うことに合意しました。

チョコレート消費量日本一の石川県において、原料のカカオ豆から製品まで一貫生産する国内初のチョコレート産業の育成をめざします。また将来的に、収穫したカカオ豆のうちカカオポッド(殻)をバイオマス原料として活用し再生可能エネルギーであるバイオマス発電の導入なども見据えています。

これは地球温暖化や耕作放棄地の拡大等の社会課題に対し、環境循環型農業の構築、カーボンニュートラルな社会の実現だけではなく、農業の6次産業化(例えば、カカオの森を新たな観光資源にするなど)、多様な観点での価値創出や社会モデルの実現をめざしています。

ご多用のところ恐縮ではございますが、記者会見を開催しますので、ご取材賜りたくご案内申し上げます。

1 共同研究の内容

耕作地あるいは耕作放棄地を活用して、南国樹木であるカカオの大規模な栽培によるカカオの森づくり、そしてこのカカオの森を通して新たな価値をデザインする産業の育成をめざします。

2 記者会見の日時等

(1) 日 時：令和3年7月7日(水) 14:00～14:30

(2) 会 場：加賀市役所 別館3階 301会議室

(3) 出席者：加賀市長 宮元 陸(みやもと りく)

国立大学法人東京大学 准教授 鴨田 重裕(かもだ しげひろ)氏

本件へのお問合せ先

加賀市政策戦略部スマートシティ課

担当：岡村 TEL 0761-72-7830/E-mail: smartcity@city.kaga.lg.jp